

## 第5学年4組 学級活動（1）指導案

1. 日時・場所 令和元年11月6日（水）5校時（13:40～14:25）5年4組教室

2. 議題「にじゅう丸 協力出航記念パーティをしよう」

学級目標：かがやけ！スマイルにじゅう丸  
友情・挑戦・愛情・感謝

3. 議題について

### （1）児童の実態

明るく素直な児童が多く、物事に前向きに取り組むことができる。係活動では、クラス全員で楽しめる企画を立てたり、お知らせを書いたり、自分たちで工夫をしながら積極的に活動をしている。クラスをよくしようという思いをもち、行動に移すことのできる子どもたちである。生活や学習の様々な場面で、自分の思いを伝えたいと強く思い、伝えようとする姿が多く見受けられる。しかし、互いの主張が対立し、衝突する場面も多い。トラブルがおきた時は、担任を介して解決を望むことが多いことが本学級の課題である。少しずつではあるが、友達の意見に耳を傾けること、一方的に自分の思いを伝える前に一呼吸おいて考えること、自分と異なる友達の意見も一旦受け容れることなどができる児童が増えてきている。5年4組の子どもたちがもっている「クラスをよくしたい」という思いを大切にしながら、自分たちの問題を自分たちの力で解決しようという姿へ成長できるよう、日々指導を続けていきたいと思っている。

学級目標を決める際、「笑顔いっぱいクラスにしたい」「自然教室でもらった『笑顔』、『友情』、『挑戦』、『愛情』、『感謝』の火を大切にしたい」「一人ひとりが最高の6年生になれるように協力していきたい」など様々な意見が出された。「私たちは5年4組だから、 $5 \times 4 = 20$ の『にじゅう』と、よくできましたの『二重丸』を合わせて『にじゅう丸』という名前の船にして、その船にみんなの願いを乗せたらどうかな」という意見から折り合いをつけ、自分たちは「笑顔いっぱいの最高の6年生」に向かって仲間としてがんばっていく『スマイルにじゅう丸』の船員、クラスみんなを支える船の旗には自然教室でもらった火を掲げようという形で学級目標を決めることができた。一人ひとりの笑顔を全員で大切にしていこうという子どもたちの思いが込められている。

これまで、学級会は5回行っている。1回目は担任が司会を、それ以降は輪番制の計画委員が司会グループとなり、学級会を運営している。話し合ったことをもとに実践を行ったあとは、振り返りを行ってきた。振り返りでは、活動を通して得られたこと、新たに見つけた課題を話し合い、学級が次に目指すめあてを立てている。今の自分たちには何が必要なのかを話し、クラスの全員で共通の理解をもって、次の学級会へつなげることを意識して取り組んできた。これにより、学級会→活動→振り返りのサイクルがつながりを持ち、学級の課題に自分たちの成長を感じながら取り組み続けることができています。

<これまでの学級活動（1）の議題と振り返り>

①「1年生おむかえ集会」をしよう。

振り返り：○友達と協力して準備することができた。アイデアを出し合ってよりよいものにできた。  
☆もっとクラスみんなとも仲を深めたい。

②「にじゅう丸 夏祭り」をしよう。

振り返り：○同じチームの友達と仲を深められた。クラスの友達の新たな一面を知ることができた。  
☆もっと男女でも仲を深めたい。

③Aさんのためにできることをしよう。(単発の議題)

振り返り：○入院しているAさんにできることを、みんなで一つになって考えられた。  
☆Aさんが安心して戻ってこられる5の4にしたい。

④「にじゅう丸 おしゃべりタイム」をしよう。

振り返り：○男女関係なく、今まで関わりが少なかった友達と関わる事ができた。  
☆6年生に向けてもっとできることを増やしたい。

⑤「にじゅう丸 ありがとう運動」をしよう。

振り返り：○お互いのよさを知ることができた。あたたかい言葉がふえた。  
☆もっとクラスのチームワークを高めたい。

話し合い活動では、回数を重ねたり、事前に意見を整理させたりすることで、自分から発言できる子が増えてきた。しかし、「まとめる」段階では、どう話してよいかわからず、発言が減ってしまう傾向にある。その都度、様々なまとめ方があることを伝え、合体案や折衷案、優先順位をつけて決める方法など、いろいろなまとめ方を経験できるよう心掛けてきた。次は、自分たちでまとめ方の提案ができるようになること、時間内に話し合いをまとめることを課題として挙げている。

## (2) 議題選定の理由

前回の学級会後の実践では、「にじゅう丸ありがとう運動」を行った。振り返りでは、「クラスにあたたかい言葉が増えた」「お互いのよさを知ることができた」と言った意見が挙がった。その中でも、多くでたのが「せっかく雰囲気よくなってきたから、もっとクラス全体のチームワークを高めたい」という意見であった。

本学級は、後期になり、「今だからこそクラスのみんなで何かをしたい」という思いが高まっている。「全員で協力して一つのことをするを通して、もっと普段から一緒に遊ぶくらい仲を深めたい」という児童の思いから、本議題を選定した。

話し合いでは、自分の思いをもち、友達に意見を伝えることができる子が多くいる。しかし、自分の考えを大切にあまり、友達の意見を受け容れられないことが課題である。また、なかなか折り合いをつけて、合意形成を図ることが難しいことが多く、クラスにとってどれが相応しい活動なのかを決められず、時間内におさまらないことがある。今回の学級会では、「それぞれの考えの思いのよさ」に目を向けて話し合う。事前に出し合った状態から始めることで、時間を十分にとってよさを比べる。焦点を絞り、話し合いを深めることができることを期待したい。よさの違いやそれぞれのよさの価値を考えられるように支援していくことを本実践では大切にしていきたい。

#### 4. 評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学級や学校の生活の充実と向上にかかわる問題に関心を持ち、他の児童と協力して自主的に集団活動に取り組もうとしている。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために話し合い、自己の役割や責任、集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、信頼し支え合って実践している。	みんなで楽しく豊かな学級や学校の生活をつくることの意義や学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の効率的な進め方などについて理解している。

#### 5. 活動の実際

##### (1) 事前の活動

活動の場	活動内容	支援 (○) と評価 (☆)
10月上旬	・議題ボックスに「みんなで協力して一つのことをする会がしたい」と提案が寄せられる。	○事前に話し合い活動の意味について確認し、どのような学級にしていきたいのかを考えて意見を入れるよう促しておく。 ☆学校生活に関心を持ち、学級をよりよくしようとしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)
10月21日 中休み	・議題ボックスを確認し、話し合いの議題を選定する。	○寄せられた議題の中から担任と一緒に議題を選べるようにする。 ☆寄せられた議題案の中から今の学級にふさわしい議題を選んでいる。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
10月23日 中休み	・司会グループと提案者で、柱と話し合いのめあてを決める。 ・司会グループの役割分担をする。	○今回の学級会では何を大切にして話し合いたいのかを考えるよう促す。 ○それぞれの役割を確認し、話し合いの流れをイメージできるようにする。 ☆担任とともに話し合いの進め方やめあてを考えている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
10月25日 帰りの会	・学級会で話し合う議題とめあて、提案者の思いを学級全体に伝える。	○話し合う内容や提案者の思いを伝え、クラス全体で思いを共有できるようにする。 ☆議題に対して関心をもとうとしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)
10月26日 宿題	・自分の考えを学級会ノートに記入する。	○一人一人がめあてを意識して自分の思いを書くよう声をかける。 ☆提案理由やめあてに合った活動を書いている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)

10月29日 朝の会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人が活動に対してどんな思いをもっているのかを知る。</li> </ul>	<p>○集められた一人一人の思いを、クラス内に掲示する。クラスみんながどのような思いをもっているのかを確認するよう声をかける。</p> <p>☆友達が集会に対して、どのような思いをもっているのかを読み取ろうとしている。</p> <p>(集団の一員としての思考・判断・実践)</p>
10月29日 宿題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・希望者が活動案を練る。</li> </ul>	<p>○希望者には、掲示されている友達の思いを受け、活動案をつくってくるよう声をかける。</p> <p>○友達との合作もよいことを伝え、多くの友達の思いが入った活動案が集まるようにする。</p> <p>☆クラスの友達の思いを大切に、活動案を作っている。</p> <p>(集団の一員としての思考・判断・実践)</p>
11月1日 朝の会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践案への質問と、自分の意見と理由を学級会ノートに書く。</li> </ul>	<p>○集められた活動案を掲示し、どれがめあてや提案者の思いに沿っているのかを考えておくよう声をかける。</p> <p>☆提案理由やめあてを大切に、自分の意見を書いている。</p> <p>(集団の一員としての思考・判断・実践)</p>
11月5日 中休み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・司会グループで話合いの流れを話し合う。</li> </ul>	<p>○話合いの流れを、担任と確認し、司会グループが安心して学級会を進めていけるようにする。</p> <p>☆担任とともに話合いの進め方を理解している。</p> <p>(集団活動や生活についての知識・理解)</p>

(2) 本時の活動

①ねらい

それぞれの活動案のよさを話し合い、学級目標に近づくことができるパーティの内容を決めることができるようにする。

②展開

児童の活動	支援 (○) と評価 (☆)
<p>1 はじめの言葉</p> <p>2 司会グループの紹介</p> <p>3 議題の確認</p> <p>「にじゅう丸 協力出航記念パーティをしよう」</p> <p>4 提案理由の確認</p> <p>「クラスのありがとうの輪が広がったり、おしゃべりタイムをしたりして、いろいろな人とかかわりがもてるようになってきました。だけど、ふだんはいっしょに遊ばない人もいます。『にじゅう丸 協力出航記念パーティ』で、一つのことをみんなでいっしょにやっ て、ふだんからいっしょに遊ぶくらい、もっと仲を深めたいです。」</p> <p>5 めあての確認</p> <p>6 話し合い</p> <p>(1) 出し合う (事前に行く)</p> <p>(2) 比べ合う</p> <p>(3) まとめる</p> <p>7 決まったことの発表</p> <p>8 話し合いの振り返り</p> <p>9 振り返りの発表</p> <p>10 先生の話</p> <p>11 終わりの言葉</p>	<p>○前回の学級集会での様子を振り返り、どのような願いから本時の提案理由となったのかを振り返る。</p> <p>☆司会グループとして自分の役割を果たしている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)</p> <p>○「協力」や「仲を深める」というキーワードについて、全員で共通理解が図れるよう、確認をする。</p> <p>○「よさ」のちがいを見いだすためにも、それぞれの意見の「よさ」を様々な視点から出し合えるように助言する。</p> <p>○話がそれたときは、めあてに立ち戻り、話し合いを進めていけるよう助言する。</p> <p>○それぞれの意見を比べ合い、友達の思いを大切にして決定していくことができるよう促す。</p> <p>○少数意見を大切に、それを生かすことができる工夫はないか考えるように促す。</p> <p>☆友達の考えを認めながら、よりよい合意形成することができる。 (集団の一員としての思考・判断・実践)</p> <p>○自分のめあてに対して振り返り、実践に向けての目標を記入するよう声をかける。</p> <p>○提案理由やめあてに沿った意見や全体を考えて言えていた意見を称賛する。司会グループのがんばりを伝え、実践に向けて意欲を高められるようにする。</p>

③本時の視点

・お互いの思いを聴き合い、合意形成しようとする姿が見られたか。

③板書計画

なぞとき マシュマロ リバー	仮装 パレード	ダンス ファイヤー	案 ◎ポイント 意見	話し合うこと パーティのメインイベントを決めよう	<p>5の4は協力してこうなりたい！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・だれとでも肩の組める距離感に</li> <li>・遊びに誘ったらみんなが来る仲に</li> <li>・意見が合わなかったときに、口喧嘩ではなく話し合いで解決できる仲に</li> </ul> <p>《決まっていること》 日時…11月14日3校時 場所…体育館 メインイベントは20分間</p>	<p>第6回 にじゅう丸会議</p> <p>議題 にじゅう丸 協力出航記念パーティをしよう</p> <p>提案理由 クラスのありがとうの輪が広がったり、おしゃべりタイムをしたりして、いろいろな人とかわりがもてるようになってきました。だけど、ふだんは一緒に遊ばない人もいます。5年4組が全員そろった今、「にじゅう丸 協力出航記念パーティ」をして、一つのことをみんなで一緒にやって、もっと仲を深めたいです。</p> <p>話し合いのめあて 5の4が協力して、仲を深めるパーティにしよう。 ◎今のクラスに必要な「協力」をもう一度共有しよう。</p>
難しいことに挑戦して協力できる	準備のときから、長い間協力できる	男女で触れ合って、協力できる				

(3) 事後の活動

活動の場	活動内容	支援 (○) と評価 (☆)
11月7日 朝の会	・役割分担をする。	○全員が分担できるようにする。
11月8日 休み時間～	・役割ごとに準備をする。	○協力して準備が進められるように声をかける。 ☆役割分担に基づいて協力して準備を進めている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
11月14日 3校時	・「にじゅう丸 協力出航記念パーティ」を行う。 ・実践後の振り返りをする。	○ねらいを達成できたこと、次の課題は何かという視点を提示し、振り返りを書き発表する場を設ける。 ☆活動に対する自分の取り組み方や、学級全体としての実践を振り返り、みんなで集会をつくる意義を理解している。 (集団活動や生活についての知識・理解)